

IT弁護士が語る 日本消滅 — IT貧困大国・再生の手だて

■主 催：クラウドビジネス推進研究会

■担当部署：インダストリ・システム部

■参加者数：約60名

概 要

JEITA 情報・産業社会システム部会では、有識者との意見交換や講演会の開催を通じて、クラウドコンピューティングの正確な実態認識を共有するため、平成24年度より「クラウドビジネス推進研究会」を新規に設置いたしました。

今回は、クラウドビジネス推進研究会主催講演会の第3弾として、牧野総合法律事務所牧野二郎弁護士氏をお招きし、法律の専門家という立場から、我が国のIT産業の再生に必要な施策についてお話を頂きました。主な内容は下記の通りです。

- ・日本人の特性として、決まったことをルールに従って磨き上げることは得意である一方、平等心が極めて高く行儀の良さを尊重するという傾向にある。
- ・その特性が影響してか、日本の立法力という観点から見ると、ある産業が成熟すると、当該産業保護のために既得権保護立法を実施することが多く、産業育成・経済全体を支援する指導力が欠如している。



- ・個人情報保護についても行き過ぎの傾向にあり、個人情報活用や匿名情報活用が進んでいないのが現状である。



- ・イノベーション研究が盛んになった時期があったが、日本にとってリスクの大きいイノベーションは体質的に受け付けずとみるべきではないか。日本は他国の生み出した先進技術を改善し、最先端技術を磨き上げるための戦略へと転換していくことが必要ではないだろうか。
- ・価格競争ではなく、技術・品質・安全性で世界一の基盤が揃っていることを我が国の優位性として認識し、強化していくことが大切であり、再生のための新しい可能性が見えてくる。

- ①世界最高水準のセキュリティ技術を提供していくこと
- ②安全、安心をサービスとし、世界中のデータの保管庫とすること
- ③インフラストラクチャの強固さ、高速性、安全性を確立していくこと
- ④未曾有の地震、津波、放射能汚染の経験を活かし、高信頼のサービスを提供していくこと

プログラム

○IT弁護士が語る 日本消滅 — IT貧困大国・再生の手だて

講師：牧野二郎 氏（弁護士／牧野総合法律事務所）